

おいしいね!

おいしいね!

生協アイヨイス岐阜機関紙



ひばり号

発行責任者

生活協同組合アイヨイス岐阜
理事長 秋松 吉子
☎058-215-5566

季節はめぐり春がやってきました。

近年では四季もあいまいになってきたとはいえ、春はうれしい季節です。アイヨイス岐阜の活動も活発になりそうです。

連載 秋松理事長の伝えたい話

「はなしると生協」

組合員と担当理事で総勢10名ほどの小さな集まりを各地で開いています。

「はなしる」とは話し合って知るという想いが込められています。

生協の商品や生協に関することだけでなく、日頃疑問に思ったり、少し悩んだり気後れして話せなかつたりしている事なども話題にして話し合える集まりです。

かつて生協には近くに住んでいる組合員どうしがお茶とお菓子を持参して

商品の利用の仕方、使い勝手、毎日の献立、子どもの学校生活、等々、

夫への愚痴も含めて何でもおしゃべりができる会がありました。

その中で合成洗剤、食品添加物、農薬などの化学物質によって、

人や体や心が傷つき、環境が汚染されている事を知りました。

美しい環境も安全な食べ物も組合員の思いで

守り、作り、利用する事だと思っていました。

しかし生活が豊かになり、便利になるとともにこの会は自然消滅のようになります。

「生活協同組合の組合員としての私達」でなく、「生協と私」になりました。

これと時を同じくして地域社会、近隣とのつながりも段々とうすくなり、個々で

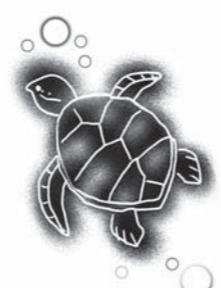
暮らしていくてもさほど問題がないような気がしていました。

しかし、そうではなかった事を、このコロナ禍と自然環境の破壊と汚染の進む情況の中で

私達は思い知ったのです。

今、生活協同組合がとても必要とされるのではないかと思います。

社会がどうあったらいいか、個々がどうしたらいいか、小さな会ですが「はなしる」の会に参加して今の時をどのように感じているか、どのように生きるかを話し合ってみませんか？



特集・みんなに知ってほしい

洗剤

について考える

洗剤の何が害になるのか知っていますか？
理事長の記憶から順を追って考えてみましょう

第二次世界大戦が1945年に終わり、6~7年経った頃です。「広場で汚れが良く落ちるソープレスソープで髪を洗いますから集まって下さい」と二人のおじさんが町内をふれ廻りました。何か面白い事が始まるのだと思い、友達と見に行きました。

広場には洗面器とお湯が用意され、おじさんの一人がその中に何かをチョロっと入れ、見物人の髪を洗ったのです。洗った後、湯の汚れとピカピカになった髪に「おおっ」と感動？したものです。

その時のおじさんの一言が「これはソープレスソープ、つまり石けんでない石けんと言って、体も服も茶碗も簡単に汚れが落ちるから洗い物が楽になり清潔な暮らしが出来るよ」でした。

家に帰り、父にその話をすると父は「そんなに簡単に汚れが取れるのは何か裏があるんじゃないかな」と言いました。

1953年頃には洗濯機が広く普及し粉石けんも増産されました。合成洗剤は粉石けんより値段が高く、まだまだ石けんの時代でした。

1963年頃になると合成洗剤が粉石けんより多く生産され、1965年頃には合成10、石けん1くらいの生産量になり、値段も石けんとほぼ同じになったのです。そのうたい文句は「水によく溶ける、洗い上がりは真っ白、だから石けんより使いやすい」でした。



私の記憶では1960年の後半になると合成洗剤による生物や環境への影響が研究され、人体への害も出て合成洗剤の見直し運動が消費者から始まりました。

それ以前にも科学者からは合成洗剤の問題点について提起がなされていたのですが、その頃の日本は経済的に豊かになり便利な生活を追求する事に向かってまっしぐらという状況でした。

そんな中で合成洗剤のABSがLASに替わり、助剤も少なくて「より安全」「前より安全」と言われ、その時の社会情勢と相まって洗剤運動も下火になってしまったのです。

LASはABSより分解されやすいのですが、完全に分解されるのではなく残ってしまいます。また、下水道の完備により泡立って流れる河川もありませんが、海へ流れ込んでいるのです。

今はLASと共に香りの害や洗剤に添加される化学物質が問題になっています。

もう一度、合成洗剤を手始めにして環境の汚染について考えてみたいと思います。さまざまな化学物質による複合汚染についても真摯に向き合いたいのです。

※1 ABS→アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム
※2 LAS→直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩
界面活性剤の一種。水生生物に影響が懸念される



テーマ会「洗う」12/8

昨年理事の学びとして、「洗う」をテーマに洗剤について話し合いをしました。

私たちが使っている洗剤には、洗濯用、台所用、住居用やボディーソープ、シャンプーなどその種類は数えきれない程あります。

しかし、実は汚れの80パーセントは水だけで落ちます。洗剤を使わないと汚れが落ちにくい油も、古布や新聞紙で拭き取ることで洗剤量を減らせます。洗剤は沢山使えば落ちるというものではありません。

手間はかかりますが、襟や靴下の汚れは少量の洗剤に付け置きしたり、もみ洗いをするだけで汚れ落ちがアップします。

使用する洗剤の量をできるだけ少なくすることは、人にも環境にも優しいといえます。洗剤には界面活性剤が使われていますが、その大きな特徴の一つは吸着性です。つまり、すぎをしそぎるくらいしても尚蓄積されていきます。微量であっても蓄積されると皮膚を刺激することができますし、下水処理で分解してくれる微生物に負担がかかります。

合成界面活性剤の中には、助剤として蛍光増白剤を使用しているものがありますが、これは汚れを落とすのではなく白く染めるためのものです。川や海の汚染に繋がると考えられています。

近年柔軟剤や洗剤、芳香剤に使われている香料による化学物質過敏症の方が増えています(香害)。洗剤の選び方や使い方、食品添加物、農薬、遺伝子組み換え食品など複合的なものが人体や環境にどのように影響するのか？

私達一人ひとりが意識して選択することで、人にも環境にも優しい社会になりますように！

(組合員理事 H.I)

おいしいね!



理事
活動

第4回はなしるフレンズ 11/22~29

昨年11月22日～29日に5会場で「はなしるフレンズ」(地区組合員交流会)が行われました。

「はなしるフレンズ」は組合員同士で話をして、いろんな事を知る、という会で今回は4回目の開催でした。参加者の方々は初めて顔を合わせるので自己紹介から始まります。その中でアイチョイスのお気に入り商品やそのレシピ、そして今回は時節がらお掃除についての話題も交えながら話を進めていきました。

みなさんアイチョイスの組合員という同じ方向を向いている方々なので、食べ物のこだわりや不安に思っていることを普通に話すことができ、聞けるということが本当に魅力的だと思います。商品についてはいつも同じ物を買うことが多いのですが、いろんな方のお気に入りの商品を聞くことで知らなかつた商品を購入してみるきっかけにもなっています。

そして今回のお掃除については、私にとって気になる話題でした。参加者の方の「カビが気になるけれど対策は?」という話から、こまめに水分を拭くことという話やアロマオイルを使ってお掃除すると爽やかだという話など、実際にされているお話を聞くことができ、私も年末久しぶりにミントのオイルを数滴入れたバケツで雑巾をしぼり、拭き掃除をしました。

毎回「はなしるフレンズ」を終えて思うのは、話をするって大事だなあということです。年齢も環境も異なる方とお話しするなかで新たな発見や気づきがあって、これでいいのだよね、と自分で再確認できたり、自分の想いを整理できたりします。小さなコミュニティだけ集まれば大きな力になります。みんなで作っていく生協だからこそ、こんな話せる場を大切にしたいなあと思います。次回は3月に開催予定なのでひとりでも多くの方に参加していただけたらいいな、と思っています。(理事Y.N.)



理事
活動

アイチョイスグループ 学習会 1/16

「日本の食料危機～食と農を守るために私達(生協)ができること～」の講演会を聞いて

鈴木宣弘先生の講演会を聞かせて頂くのは今回で2回目です。期待以上の内容で、時間があつという間に過ぎました。

日本の食料自給率は、種や肥料の自給率の低さも考慮すると現実は10%あるかないかだそうです。もし海外からの物流が停止したら、世界で最も餓死者が出る国は日本です。

日本が生き残るには

- ①消費者である私達が国産原料で作られた商品を選ぶ事
 - ②オーガニック商品を選ぶ事
- この2つが大切だと思いました。

国産原料を選ぶ事は日本の農家支援につながります。

オーガニックは生物多様性と深く関わっています。アイチョイスはまさにニーズにあった商品を取り扱っています。これからもアイチョイスの良さを組合員さんや一般の方に伝えていきたいと思います。



組合員さんの
近況などを
お伝えします

老々介護の日々

組合員さんの お話から

生協
って
何?



生協の組合員になって50年を過ぎました。80歳をこえて想定外の病になり、以来家の中も外も車椅子で生活をしています。不自由ですが社会福祉と家族に助けられて前向きな生活が出来ています。なかでもアイチョイスの宅配には助けてもらっています。

昔から「医食同源」をモットーに生きてきましたので食にはこだわっています。値上げラッシュが食の安全をおびやかしている昨今ですがなんとかしてのりきらねばと思うこのごろです。(組合員Y.Y.)

3人の子育てが始まったばかりの新米主婦だった私は農薬、添加物のない安心安全な食品が手に入るという情報をもらい組合員になりました。以後、話し合いの輪に入れてもらい、孫も成人式をむかえた今、それなりの健康でいられることをありがたいと思っています。

日々の食生活を生協の活動の中で享受しており、近年のコロナ禍では注文→配達の仕組みには感謝しております。

注文については注文書からネット・スマホと方法の激変に不安を感じる年齢になり、切り替えることができなくなった時には「切り捨てる」されるのはと思っています。新しい物事への挑戦もしたい気はありますが、脳内理解度が追いついていません。(組合員M.M.)



キッチンカー

昨年10月から導入したキッチンカーは、イベント会場や地域の交流の場で活躍中です。

昨年の11月は、垂井町でのイベント「フェアトレードデイ垂井」に参加。みんなまるっとフェアトレード(フェアトレードや地産地消、安全な食材等がテーマ)に賛同し、青空の下多くのみなさんと交流することができました。

その他「たじみ子育て楽市楽座」の参加など、今後も国産小麦パンを中心に販売をしながら、キッチンカーの活動を広げていきます。

キッチンカー情報はInstagramで随時お知らせしています



インスタフォロー
お願いします!



7才の交通安全プロジェクト

7歳児は、小学校に入学し、行動範囲がひろがる年齢です。親といっしょに行ける幼児や注意力が育まれた他の年齢に比べて、交通事故にあいやすいという統計があります。

未来ある子どもたちを交通事故から守りたいという想いからできた取り組みです。



■秋松理事長と板津富加町長

交通安全旗を富加町に寄贈しました!

12月2日(金)富加町を訪問し、交通安全旗を寄贈しました。

アイチョイスでは2021年11月からマイカー共済の取り扱いを開始しました。

マイカー共済に付随した取り組みとして、「7才の交通安全プロジェクト」(楽しく交通安全ルールが学べる7才の交通安全マップの開発、7才児の事故の危険性の啓発ムービーの公開、安全意識を高めるデジタル絵本の公開、児童館等へ横断旗寄贈)が行われています。横断旗寄贈は、マイカー共済1件のお見積りにつき、1本の横断旗(横断歩道で渡る際に使用する黄色の旗)を交通安全協会や児童館などへ寄贈する活動です。

生協アイチョイス岐阜は、この取り組みに賛同し呼びかけを行いました。

結果、集まった見積もり依頼の件数分50本の寄贈につなげることができました。

理事会
報告

2022年度 第6回理事会

2022/11/17 生協富加センター会議室 他

出席:理事12名(12名中)・監事2名(3名中)

[協議決定事項]
ビオトープ米施策について
2022年10月31日現在の2項組合員数について

2022年度 第7回理事会

2022/12/22 生協富加センター会議室 他

出席:理事11名(12名中)・監事3名(3名中)

[協議決定事項]
3月カタログ商品展示会協力のお願いについて
2022年11月30日現在の2項組合員数について

2022年度 第8回理事会

2023/1/19 生協富加センター会議室 他

出席:理事11名(12名中)・監事3名(3名中)

[協議決定事項]
2022年12月31日現在の2項組合員数について

[決議事項]
2023年度経営リスク保険(旧生協役員賠償責任保険)への加入について

[報告事項]
月次決算報告について

供給高 12月 237,107千円 12月までの累計 1,645,315千円
予算比 (104.8%) 前期比 (107.2%) 予算比 (95.3%) 前期比 (106.4%)

経常剰余金 12月 5,034千円 12月までの累計 1,355千円
仲間づくり(組合員拡大)
加入件数 12月 184件(計画231件) 12月末の組合員数 16,962人
前期比 (110.5%)

CO-OP共済

加入件数 12月 12件(計画20件) 12月までの累計 173件
保有件数 12月 2,063件 前年比+136件



委員
活動

総代だより

2023年1月号発行内容

OKシードマークとは? / 2022年度上期決算報告
職員・組合員理事学習交流会 / 沖縄県恩納村コープサンゴの森連絡会参加報告 / のらくら農場交流会参加報告
キッチンカーの取り組み / はなしるフレンズ開催報告
冬の星座をみつけよう(4コマ漫画)他



お便り
お待ちしています!